

第34号

2022.1



会報



シルバー伊賀

●全国安全就業スローガン最優秀作品

「いつまでも 働く喜び 無事故から」



●伊賀市安全標語入選作品

最優秀作品 「忘れてない 自分の年齢と 気の緩み」

森田 光

佐藤つたえ

伊山 忠良

池田富士男

前澤孝之

優秀作品 「安全」は 基本動作の 繰り返し

優秀作品 「事故防止 慣れた作業も 再確認」

佳 作 「無理するな 常に初心だ 事故はゼロ」

佳 作 「なれ ふなれ あなたの過信が 事故となる」

公益社団法人 伊賀市シルバー人材センター

〒518-0809 伊賀市西明寺2782-92

TEL (0595)24-5800 FAX (0595)23-2040

Email uenosc@sjc.ne.jp

<https://webc.sjc.ne.jp/iga-sc/>

年頭ごあいさつ

公益社団法人
伊賀市シルバー人材センター

理事長 福山 康宣



新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2年続き、新型コロナウィルス感染症に翻弄された年でしたが、会員の皆様には困難な状況の中、運営にご協力いただき心から感謝いたしております。とにかく、今年は穏やかな良い年になることを祈るばかりです。

人口減少、少子高齢化が、進行する我が国は、人生100年時代を迎えようとしています。最近では、高齢化社会の頭に「超」が付き超高齢化社会と言われています。

高齢者の多様な社会参加の受け皿であるシルバー人材センターも、企業等の定年延長や、70歳までの雇用の努力義務など元気な高齢者の活躍する場が増えています。シルバー人材センターがこれまでのシニア世代の唯一の就業場所ではなくなり、企業で働く高齢者が増えていると感じています。

このような時代だからこそ、会員、役職員が一丸となって更なるシルバーの魅力を發揮し、地域で頼りにされる存在感のあるシルバー人材センターにしていかなくてはなりません。

シルバー事業の一層の発展と拡充を目指して、新規会員の獲得、魅力ある新たな就業機会の開拓、会員の安全と快適な環境つくりの三本柱を目標に今年も元気に邁進してまいります。そして会員が生きがいをもって就業し、地域で生き生きと活躍できる機会を提供してまいります。

超高齢化社会にあって今日のシルバー事業があるのは、市をはじめとする関係機関、各事業所、地域の方々の深いご理解、ご支援のおかげであります。この2年間は、今まで以上に人ととの「ふれあい」の大切さを実感した年はなかったのではないでしょうか。一日も早くマスクの必要のない普通の生活が戻ってくることを願ってやみません。

伊賀市

市長 岡本 栄



新年あけましておめでとうございます。会員の皆さんには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、雇用・就業を通じて地域社会づくりに貢献いただいていることに、心から感謝申し上げます。

また、昨年一年間もコロナ禍にありながら、伊賀市を含む様々な事業所などから、多くの仕事を請け負い、誠実に果たされていることに敬意を表します。

さて、昨年、一昨年と新型コロナウィルス感染症が猛威をふるい、社会は大きく変革しました。昨年は市内においても国による緊急事態宣言の発令や、まん延防止等重点措置区域の指定などにより、一部の事業が中止になるなど我慢の一年であったのではないかと思います。

市では皆さんのが元気で活躍いただけるよう、医療の充実を図るとともに3度目のワクチン接種をスムーズに行えるよう進めています。

一方、デジタル化が進んだことにより、テレワークの増加など今までにない新たな働き方も確立されてきています。いろいろなところでご活躍の皆さんですので、周囲でも大きな環境の変化が起きているのではないかと推察します。

そのように環境が激変する時代であるからこそ、これまでさまざまな時代を経験してきた皆さんの知恵や知識が一層重要になってきています。

引き続きこれまで培われてきた知見を社会に還元し、伊賀市の地域づくりに協力いただきますようお願い申し上げます。

今後も皆さんの力を借りし、コロナウィルスの感染防止に努め、明るい1年にしていきたいと考えています。

結びに貴センターの益々の発展と、会員の皆さんのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

年頭ごあいさつ

伊賀市議会

議長 市川 岳人



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、令和4年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、議会に対しまして、格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴センターにおかれましては、日頃から就業を通じて、高齢者の健康維持や社会参加による福祉の向上に貢献いただいておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。また、国難とも言える新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、苦労されながら活動いただいたことに感謝申し上げます。

さて、地域社会の著しい高齢化が進む中、企業や事業所では65歳までの定年延長や継続雇用が一般化されつつあり、会員の皆さまの年齢も一層高まる傾向にあるのではないかと察します。

しかし、介護や子育て、環境整備等人手不足分野に欠くことが出来ない現役世代を支える担い手として、その能力を生かしたシルバー人材センターの果たす役割は、今後ますます重要になっていくと思われます。

基本理念であります「自主・自立・共働・共助」の下、時代の変化や社会の要請にも機敏に対応し、会員が仕事と仲間づくりを通じて、健康で生きがいが実感できるセンター活動となるようご期待申し上げます。

市議会といましても、こうした社会情勢を踏まえ、高齢者福祉・雇用施策について精一杯のご支援をして参りたいと考えておりますので、どうか今後とも皆様方の豊富な知識と経験を活かし、市民がいきいきと暮らせる地域づくりにお力添えいただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴センターの益々のご発展と会員皆様のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

公益社団法人
伊賀市シルバー人材センター

互助会会長 柴田 純一



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、令和4年のお健やかな新春をお迎えの事とお喜び申し上げます。

平素は互助会の諸行事に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から厚くお礼申し上げます。令和元年に会長職を引き継ぎ、早や3年が過ぎました。その3年間、令和2年の1月頃より、新型コロナウイルスの感染が始まり、未だに収束しておりません。このため互助会の行事も計画の変更を考えなくてはなりませんでした。第5波の初期であった7月15日(木)に第9回グランドゴルフ大会を開催し親睦をはかり、無事終わり安心しました。後の行事については、役員会をもち全員で行事予定を検討しました。シルバーフェスタ IN 伊賀は中止に、日帰り旅行は延期、芸能大会は検討中と会員にお知らせをしましたが、残念なことに結局は日帰り旅行及び芸能大会は中止せざるを得なくなりました。

会員募集をしておりますが、なかなか増えなく、会員も高齢化が進んでおります。その中、仕事と仲間づくりをし、健康で生きがいが実感できるようにしていきたいと思います。

今後、互助会においても行事を開催する予定をしていますが、感染状況、社会状況等で行う時期の見直しも考えたいと思います。行事がスムーズに行われるよう、役員一丸となり、会員の皆様に参加して良かったと喜んでいただけるよう、取り組んでいきたいと思います。会員皆様の御理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます
本年も、よろしくお願ひします。

公益社団法人 伊賀市シルバー人材センター役員



| | | |
|-----------|------------|-----------|
| 理事長 福山 康宣 | 副理事長 角谷誠之助 | 常務理事 西堀 薫 |
| 顧問 中居 喜芳 | | |
| 理事 杉山 邦雄 | 渡邊由紀子 | 山中庄太郎 |
| 理 山岡 幸五 | 山川 文孝 | 森本 章 |
| 監 佐治 篤史 | 磯矢 節之 | 加藤 薫 |
| | 西澤 民郎 | 森中 一美 |
| | 前川 博善 | 岡森 芳子 |
| | | 森田 耕市 |



寅年の私



令和4年は寅年です。寅年生まれの「年男・年女」の方々に寄稿いただきました。

- ①人生で心に残ったことは?
- ②趣味は?
- ③これからの抱負は?
- ④どんなお仕事をしていますか?



下川 義信 (伊賀支部)

- ①子どもの誕生です。妻はつわりがひどく恶心、吐き気、食欲不振を起こしました。産まれた子どもは元気で美人でした。昭和49年生まれで私と同じ寅年生まれです。
- ②妻からあなたの趣味は寝る事ね、と言われました。休日は朝食も取らず昼前まで寝ています。2002年頃冬のソナタの韓国ドラマを見てからは、休日には朝の8時頃から夕方5時頃まで韓国ドラマを見ている毎日です。
- ③自覚症状は有りませんが心筋拡張症と言われました。先生からは減量しなさいと言われましたので毎日の運動として散歩を実践しています。先生から言わされた体重をクリアしたいと思います。
- ④企業で検品梱包作業をペアでやっています。ペアでやる作業ですので二人の息が大切だと感じました。



西出 悅子 (本部)

- ①小学校六年生になった息子が体育祭で「天空の城ラピュタ」の曲に合わせて行進する姿に、成長を感じ感動し思わず涙したことを、昨日のように思い出します。あれから30年、今では孫が生活発表会で一生懸命に歌う姿に、昔に思いを馳せ、それぞれが無事成長してくれたことに感謝しています。
- ②いけばな(池坊)を多少。結婚が決まり何か稽古事をと思い立ち、軽い気持ちで入門しました。今だに思うようにはいけられませんが、良き先生や先輩仲間に支えられ40年余り、今も月1回の稽古を続けています。
- ③70歳を越ましたが、まだまだやりたいことがあります。そのためには日々健康で過ごす事が何よりも大切と考えています。
- ④放課後児童クラブの支援員と保育園の補助員をしています。両方とも子供達と関わる職場ですので、子供たちから元気を貰っています。



西岡 悅子 (本部)

- ①高校を卒業し、その後2年間の学生生活は、寮で過ごしました。そこで出会った友人のふる里と論島を訪れました。島の自然、エメラルドグリーンの海、トロピカル・フィッシュ、星の砂等、とても美しく開放的で、今までに見たことのない光景でした。青春時代の宝物の一つとして、今も心に残っています。
- ②読書。マーガレット・ミッ切尔作“風と共に去りぬ”、山崎豊子作“華麗なる一族”スケールの大きさに圧倒されました。印象深い作品です。
- ③昨年7月、嫁いだ娘に遅ればせながら子どもが産されました。日々成長していく孫を見ながら“ばあば”になれたことに感謝です。今後は健康に留意しながら無理のない程度に仕事も続けていたらと思っています。
- ④某会社での清掃作業です。日々仕事と向き合いながらも、その奥の深さを痛感しています。



山尾 信彦 (阿山支部)

- ①10人兄弟の次男として生まれて80年あまりの人生で色々な事が有りましたが、今日迄、風邪一つひいた記憶がなく健康な身体に生んでくれた今は亡き両親に感謝すると共に、60年近く連れ添った妻の作ってくれた食事をいただいてきた事、この2点に感謝の気持ちで毎日を送っています。
- ②若い時から演歌好きで春日八郎さんの歌をよく歌っていました。60才の頃からカラオケ教室で、月1回レッスンを受けています。今回シルバー人材センター互助会のカラオケ親交会で月1回上野「五十路」さんで開催しています。シルバーの方で歌の好きな方の入会をお待ちしています。65才の頃よりゲートボール協会に入り、今では月6日ほど試合に参加しています。沢山の方々と会える事が楽しみです。
- ③健康に気をつけて自分で出来ることであれば世の為、人の為に尽くしていこうと思っています。
- ④3年前、シルバーの方の紹介で草刈班に入れていただき、今は4人1組で、これは水辺公園の草刈作業を夏季は一週間に3日、冬季は月3回作業をしています。皆良い方ばかりで、仲良く仕事をしています。立派な公園が3ヶ所あり毎日散歩される方々が気持ち良く過ごしてもらえるように少しでも綺麗になるように努めています。



徳永 孝章 (青山支部)

- ①1995年(平成7年)1月17日早朝に発生した阪神淡路大震災です。当時一週間近く自宅に戻れず職場仲間の安否確認と救助物資をバイクに積んで奔走した記憶が今でも脳裏から離れません。今でも当時の仲間との交流が続いているのも、私の大きな財産です。
- ②世界遺産巡りを何年か続けていましたが、コロナ禍の影響で、ここ2年間は、どこにも行っていません。早くコロナが終息したら、又、目標に向けて行けるよう願っています。今は夫婦で家庭菜園で楽しんでいます。約10種類程度の野菜を季節ごとに作り、娘夫婦や孫達に、近所の人達に分けています。健康な限り続けています。
- ③現在、地域の役員をさせていただいている。今後高齢化社会で地域のコミュニティが低下しますので、ボランティア活動に取組み、地域の活性化につながるよう頑張っていきます。
- ④健康のため某ゴルフ場でポーターのお仕事をさせていただいている。



竹内 正三 (青山支部)

- ①兵庫県神戸市生まれで、後、大阪府内で育つて36年。今現在伊賀市に移住をして36年目となり、大阪弁と伊賀弁といいますか? 自然に使って会話をしております。一年半前に大切な家内が脳梗塞になり入院し週1回のリハビリに励み、かなり動けるようになります。私も家事(主夫)ができるようになって妻も喜んでおり安心しております。(笑)
- ②70歳まで野球、ソフトボール、ゴルフを中心遊んで身体を鍛えており仲間との交流、チームワークの意味も教わりました。今は、ゴルフが一番の楽しみです。
- ③寅年を迎えて6回目で72歳になりますが、コロナ禍も少しずつ落ち着きつつあるようですが、36年も住み続けている地域に恩返しの意味でも少しですが貢献し尽力したいと思っております。[歳かな~]
- ④平成28年からシルバー人材センターに登録させていただいて現在は、ゴルフの資金とし上野公園駐車場管理員として良き方々の集まりで楽しくマイペースで就業させていただいております。



ここに人あり



前川朝次（青山桐ヶ丘1・2丁目地域班）



7年前、67歳の暮れで退職した私は、送別会・忘年会、そして正月と酒の飲み続けでした。ハローワークからの仕事の紹介も無く、コタツで酒をチビ・チビやりながら一日中本を読んで寝ての繰り返し。

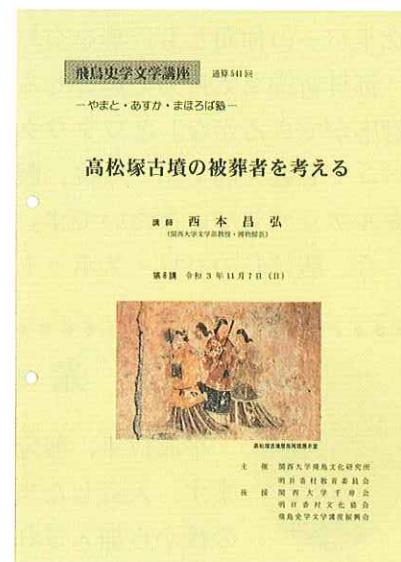
そうしているうち、4月初め頃、酒をお代わりしようとコタツから立ち上がると、ズボンの前が濡れて漏らしていました。全然自覚がありませんでした。そんなことが三回有り、泌尿器科を受診したところ運動不足と言われました。

また肝臓も悪くして、先生からの今の生活だと2～3年の命と注意され生活習慣を変えなくてはと思っている折り、シルバー人材センターよりの入会勧誘のチラシを見、早速応募しました。

現在、クリーンセンターでベット用マットの解体と、青山高原山頂小屋の管理人の仕事を水・土・日及び祝日を隔週、交替でしています。

仕事の休みの日は、ウォーキングと余裕があれば、古代遺跡・古墳巡り。北は三内丸山遺跡（青森県）、南は吉野ヶ里遺跡（佐賀県）・天孫降臨の日向・薩摩までの史跡を見て回りました。それと、月一回の飛鳥史学文学講座の受講、この講座は昭和47年に高松塚が発掘された年から現在まで45年も飛鳥時代の歴史・文化等を幅広く講義しています。私は5年前から受講しています。

今は体調も良く、仕事に行くのを楽しみ、一日も長く働きたいと思います。そして、孫（小5）が箱根駿伝に出ることを夢見ています。



菊森仁子（依那古第1地域班）



2020年の春より草引き班に入れていただきました。父母を看取り、息子の仕事も忙しくなり、家業の米作りをやめました。その後、筋力が落ちて歩行もままならない時期もあり、体力維持のためにも外の仕事を週3～4日させてもらおうと申し込みました。

趣味は、歌う事と日本画を描く事です。中学生の頃より、庭や野辺の草花を鉛筆スケッチするのが何よりの楽しみでした。沢山たまつたスケッチに色を付けてみたいと、退職後60才より日本画教室に入会。名張市展で賞を頂いたりで、あと10年、何とか続けて自分の絵を進めたいところです。残り時間もわずかで、思う通りに描ける訳でも無く、苦しいばかりですが、自然の中で草引きをしながらの生活は、最高の環境です。きれいに草が引ければ気持ちがいいし。歌は、月2回地区的公民館で、カラオケ教室。これも地区の人達と楽しくやっています。

幸せな70代がやって来たと、日々感謝しております。体力には全く自分が無く、いつもお仲間の方々には無理を言わせてもらっています。願わくば、もう少し仲間が増える事で、シルバー世代らしく、お互い余裕のある働き方が出来ればと思っております。





私達は「こんな仕事をしています」



松本香代子（伊賀鉄道 改札）



62歳で前職を退職後2年半、家で過ごしましたが、もう少し社会と繋がってみたいと思い、シルバー人材センターの説明会に参加したのがきっかけで「上野市駅改札係」の仕事を紹介していただきました。

仕事の内容は、電車の発着や乗り換え案内のアナウンスや改札口でのお客様への対応が主なものです。この1年コロナ禍で観光客は激減していますが、通勤・通学・通院・買い物など日々的に利用していただいている方とは顔馴染みになってきました。

就業は1回4時間半で週2～4回です。シルバーならではの、この働き方が今私の私にはちょうどいいです。伊賀鉄道の社員の方にも親切にしていただき、同じシルバーの仲間とも言葉を交わすと元気ができます。

毎日新鮮な気持ちで過ごせるのも「今日はどんな出会いがあるかな、より良い対応ができるかな」とワクワク感があるからだと思います。伊賀鉄道の様々なイベントも魅力的です。今後、賑わいが戻ってきた時に適切な対応ができるようスキルアップしていきたいです。

今、駅は私のパワースポットです。



西口 光（剪定）



平成17年、剪定講習会をきっかけにシルバーに加入してから16年、2度目の班長を務めています。入会した当時の班は3名でしたが、現在は7名、ほぼ伊賀市全域で活動しています。私の後から加入された方は、私同様殆ど剪定未経験者でしたが、先輩班員に基礎から指導していただき、作業を楽しんでいます。

作業は秋に集中することが多いのですが、メンバーには地域活動や他に趣味をお持ちの方が多く、体力も考慮して、繁忙期でも週5日以内・連続3日以内を心がけています。

「同じ樹種でも一本として同じ樹はない」最初の講習会講師の教えでしたが、自分なりに樹に向かい、イメージに近い剪定ができた時の密かな満足感もあります。また、早朝からの自然を相手の作業は爽快で、軽作業ながら動きの絶えないこともあります。心身の健康に良く、一鋏一鋏、作業に集中することも老化予防に役立っているように思います。何より、作業終了後の美しくなった庭を見る充実感や、依頼主さんから感謝のお言葉をいただいた時などは、一日の疲れも忘れます。剪定に少しでも興味のある方、ご一緒にいかがですか。



山本八恵子（介護施設 洗濯、清掃他）



介護施設 11:00～18:00 休みは1時間あります。職種は、業務補助です。2階、3階で4ユニットあります。1ユニット20名入所です。

5～6名でシフト制で、4ユニットを回っています。洗濯、シーツ交換、部屋、ホール清掃、食器を洗ったりしています。家庭の延長の仕事で、高齢者の私でも出来て、とてもやりがいがあります。体を動かしているのが好きです。また介護士さんに『ありがとう』と言ってもらえると、とてもうれしく働く日々に感謝しています。皆様が支えて下さり本当にありがとうございます。

いつまでも体の続くかぎり頑張りたいと思います。

私達は「こんな仕事をしています」



坂下脩司 (環境センター ベット用マット解体、マンション清掃)

伊賀南部環境衛生組合（クリーンセンター）ベット用マット解体作業

9時～12時、月4回、4人口ーテーション2人組。手袋、マスク着用。

ベットのマットが毎日運ばれてくる。（コロナ10万円の影響か）割と力がいる。

フラット立石マンション共通部清掃作業 3棟。1回2時間、週2回。1人。

主にクモの巣除去。令和2年12月より開始。クモの巣べったり。どうなるかと思ったが、地道に伸縮長柄ほうきで作業を繰り返す。きれいになった時のホットする気持ちがある。挨拶をしてくれる住民も多くなつた。しかし空部屋には、クモが寄ってくる。寒くなると減るが、暑い時は、びっしり張り付く。やっかいや。

昨年4月より互助会書記をしています。コロナで事業が出来ない時が多くありましたが、今感染者が減り、マスク・手洗いをして防止に努め、各クラブの活動、互助会の活動を実施し、生きている事を実感したいと思います。

日常では、朝10分程度の呼吸体操、月1回の桐ヶ丘きらく会、歩こう会ハイキング参加。

月2回の民謡成世流、吉泉会の稽古などで健康寿命を保っています。



矢口キヌ代 (芭蕉翁記念館 受付)

2021年5月から芭蕉翁記念館で受付・清掃業務に従事しています。1日4時間、月6～7回の就労で5名のスタッフでローテーションを組みながらの勤務です。館内・展示室・トイレの清掃。特にコロナ感染予防の為の消毒等には気をつけ、丁寧に行ってています。

受付は、伊賀市企画振興部文化交流課の事務所内にあり、市職員、学芸員の皆様方のご指導をいただき、今はスムーズに業務にあたることが出来るようになりました。

9月中は、コロナ感染防止緊急事態宣言で閉館となり、自宅待機しておりましたが、10月から就業に戻りました。記念館も徐々にお客様が増え始め、賑やかさが戻ってきて、受付業務も忙しくなってきました。特に団体のお客様対応時の受付は大変ですが、職員の皆様方が応援して下さいますので、感謝しています。入館料、書籍販売等々、金銭の取扱いに責任を感じています。

記念館は上野公園内にあり、四季折々の自然に心癒されて出勤です。また伊賀が生んだ俳聖芭蕉の歴史、文化を深く学ぶ事が出来、今まで経験した事のない仕事に従事させていただくことに感謝しています。県内外からのお客様との出会いも楽しいです。

これからも健康に気を付け、感謝の心を失うことなく、笑顔で就業に励んで行きたいと思っています。



岩島忠彦 (牛乳、乳製品の配達)

私は、シルバー人材センターの紹介で乳製品の配達をしています。週3日、朝7時から昼1時頃までの仕事です。商品のピッキング作業、車への積み込み、配達（名張地区）です。

商品は、多品種、多種目あり、覚えるのが大変ですが、周りの人に助けられて、やってます。事故、荷崩れ、客先での挨拶等、気を配りながら安全運転に努めています。

朝は少し早いですが、安心・安全を届けたいと思います。



活動報告



高齢者活躍人材確保育成事業・草刈りのしごと体験（10月22日）

三重県シルバー人材センター連合会主催の「草刈りのしごと体験」講習会が、上野東公園で開催されました。9名の参加がありました。



寄せ植え教室・「秋の花を楽しもう」（9月22日）お正月用寄せ植え教室（12月14日）

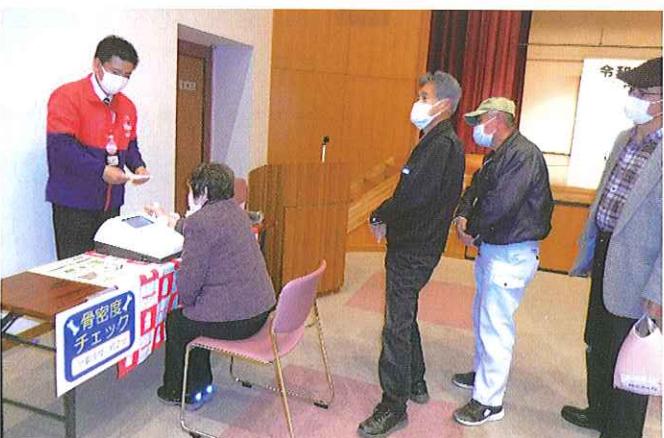
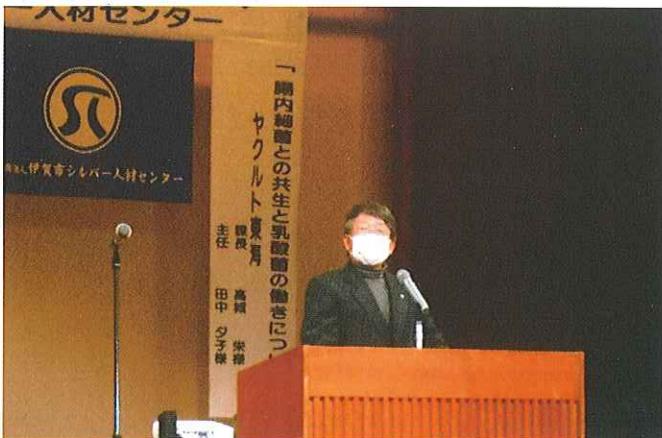
恒例になりました奥隆善先生の寄せ植え教室が、シルバー人材センター「女性の会」主催で開催されました。（写真左は、秋の寄せ植え教室、右はお正月用寄せ植え教室の模様です。）



安全講習会（安全就業の講話、健康教室、健康測定）を開催しました（12月4日）

安全就業についての講話（森本章安全委員長）

健康測定（骨密度）の模様





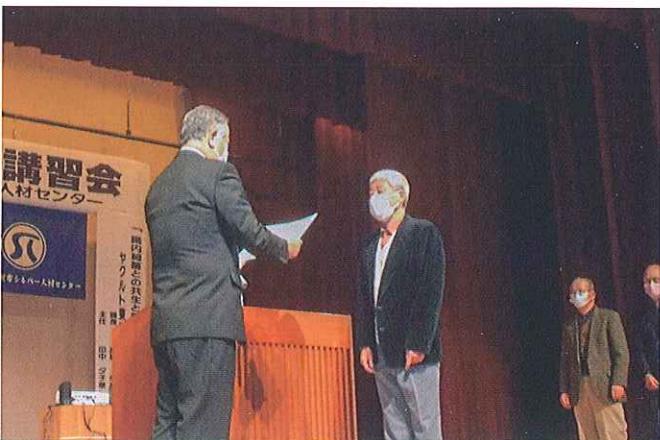
活動報告



令和3年度安全標語入選者表彰式 (12月4日)

本年度の安全標語が決定し、入選者の表彰式を行いました。会員の皆様から19点の応募をいただき、安全委員会委員19名による厳正な審査の中、5点が選ばれました。入選安全標語は表紙に記載しています。

この標語を胸に、みんなで事故ゼロを目指しましょう。



役職員人権研修 (12月10日)

津地方法務局伊賀支局「屋敷知美支局長補佐」様に「高齢者を取り巻く人権問題の現状について」をご講演をいただきました。



草刈機安全講習会 (12月17日)

飛び石の少ない草刈機の講習会を行いました。



小丸晶子支援員に表彰状

中瀬放課後児童クラブ「ネバーランド」で支援員として長年(10年)活躍されている小丸晶子様が三重県より表彰されました。



伊賀のええとこ



平井神社(伊賀市小田町)の「隨神像」

隨神像：日本の神道に於いて“神を守る者”として安置される



令和3年度 事故発生概要



令和3年12月31日現在 傷害 8件 物損 8件

| 番号 | 性別 | 年齢 | 発生月日 | 通院日数 | 入院日数 | 事故状況・受傷部位 | 傷害・物損 |
|----|-----|-------|--------|------|------|---|-------|
| 1 | 男 | 71 | 5月5日 | 通院中 | 57 | 雨の中、公園内清掃作業で、側溝に流れて来る落葉の回収作業中に、路面が石畳で、雨で滑りやすくなっていたところ、足を滑らし、右足首を骨折した。 | 傷害1 |
| 2 | 男 | 70 | 5月31日 | 4 | — | 刈り草処分のため、ダンプトラックに積み込み作業中、手首を虫に刺された。 | 傷害2 |
| 3 | 男 | 83 | 5月31日 | 1 | — | 刈り草処分のため、ダンプトラックに積み込み作業中、腕と腹部を虫に刺された。 | 傷害3 |
| 4 | 女 | 76 | 6月7日 | 5 | — | 庭の草引き作業中、左腕、左脇腹を虫に刺された。 | 傷害4 |
| 5 | 男 | 72 | 6月17日 | — | — | 草刈作業の飛び石により、近隣の舗装補修工事車両の後部ガラスを破損した。 | 物損1 |
| 6 | 男 | 77 | 7月14日 | — | — | 市内工場の草刈り及び集積処分終了後、プロアによる清掃作業を行うため、1tダンプを移動させたところ、駐車していた軽トラに接触し、損傷させた。 | 物損2 |
| 7 | 男 | 69 | 7月20日 | — | — | 伊賀市古郡地内の農免道路付近を北進中、山林から伸びていた枝に当り左サイドミラーを破損した。 | 物損3 |
| 8 | 男 | 69 | 7月26日 | — | — | 草刈作業範囲内に駐車していた作業車両を移動したところ、後方に駐車していた軽自動車に接触し損傷した。 | 物損4 |
| 9 | 女 | 76 | 7月30日 | — | 4 | 旧伊賀市庁舎周辺清掃中、めまいを訴え、木陰で休憩していたが、座っている椅子から崩れ落ちた。一緒に作業をしていた会員が飲み物をすぐ渡したが飲み物を口にするのも困難になり、救急車を呼び市内病院に搬送され、熱中症の診断を受けた。 | 傷害5 |
| 10 | 男 | 75 | 8月6日 | 通院中 | — | 俳聖殿付近を清掃中に足元が滑り、右足のくるぶしの骨にひびが入り少し欠けた。 | 傷害6 |
| 11 | 男 | 78 | 9月8日 | — | — | 大型店舗の植込みの草刈り中に、投光器のカバー(アルミ製)を草刈機で切断した。 | 物損5 |
| 12 | 男 | 76 | 9月29日 | — | — | 個人の住宅の剪定作業に於いて、給湯用のリモコン線を切断した。 | 物損6 |
| 13 | 男 | 61 | 10月8日 | 通院中 | — | 現場移動用軽トラックの助手席から降りる時ドアに右手を詰め中指を骨折した。(右手でドアを掴んだまま左手でドアを閉めた。) | 傷害7 |
| 14 | 男・男 | 76・85 | 10月28日 | — | — | 剪定作業終了後、脚立を片付ける際、支柱部分の先端が隣家の駐車場の車(ボンネット部)にあたり、2か所の擦り傷をつけた。 | 物損7 |
| 15 | 男 | 74 | 11月18日 | — | — | 大阪製缶(株)周辺を手持ち草刈機を使用し除草作業中、飛び石により駐車場の従業員の車両に損害を与えた。 | 物損8 |
| 16 | 女 | 71 | 12月7日 | 通院中 | — | 建屋内の休憩室を清掃中、入口の隅で後ろ向きに靴を脱ぎ室内へ入ろうとした時、すのこの上で躊躇転倒。転倒時に靴箱の取っ手の角で頭部打撲2針縫う。岡波病院で検査(CT検査異常なし) | 傷害8 |



互助会だより



令和3年度も、コロナで始まり、コロナで終わる1年되었습니다。

《ボランティア活動》

令和3年11月13日、「ゆーゆー会」会員で駅前整備ボランティアを実施。

近鉄大阪線青山駅前広場の草刈り、落葉清掃、植木の剪定作業を行い、11名が参加。

約3時間で駅前広場を美しくしていただきました。



《親睦日帰り旅行》

・令和4年1月17日

伊勢方面日帰り旅行 中止



《行事予定》

・令和4年3月18日

芸能大会 中止

各クラブの紹介

(何れのクラブも会員を募集しています。)

○ カラオケ親交クラブ

会員は18名で、毎月定例会でカラオケをしています。

○囲碁同好会

互助会会員は現在4名で、一般市民の方も交じって、月に4~5回開催しています。

○ SCグラウンドゴルフ

会員は14名で、毎月第2日曜日に上野東公園で行っています。

○ すみれ会

会員数は10名で、憩いのやかたで活動している手芸サークルクラブで、忍者衣装、花束、自由な作品つくりなどを行っています。

○ パークゴルフクラブ

会員は20名で、青山ハーモニーフォレストゴルフ場で活動を行っています。

○ ゆーゆー会

会員は9名で、夏祭り参加やボランティア活動を行っています。

○ いがスマイル彩

会員は10名で、踊り、歌、紙芝居などの練習会や訪問ボランティアを行っています。

○ 元気クラブ

会員は12名で、玉ねぎ、カボチャ、大根などを作っています。

○ 伊賀SCゴルフ同好会

会員は35名で、年に4回の大会を行っています。



インボイス制度について



請負で就業されている会員の皆様に支払われる配分金には消費税が含まれており、本来はその消費税については、申告・納税の義務があります。現在、消費税を含む売り上げが年間1,000万円以下の事業者は、「免税事業者」として取り扱われ消費税の申告・納税が免除されています。ところが、令和5年10月から、消費税に関する「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が導入され、会員の皆様の「配分金」に含まれる消費税の支払い義務が生じる可能性があります。今後の動向については逐次、情報提供をさせていただきます。

配分金の確定申告について

会員の皆様が、センターから受け取られる配分金は所得税法上「雑所得」として取り扱われます。（給与所得ではありませんので、ご注意ください。）

したがって次に該当する場合には、会員の皆さんが必要がありますのでご注意ください。

◎配分金収入のみの場合

配分金収入が103万円を超える会員（基礎控除48万円+必要経費55万円）

◎配分金収入と公的年金収入がある場合

配分金収入 - 必要経費 = 配分金所得……………ア

公的年金等収入 - 公的年金等の控除額 = 公的年金所得……イ

ア + イ - 基礎控除 - 配偶者特別控除等 = 課税所得金額

公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金）の控除額

(1) 65歳未満の会員（昭和32年1月2日以降に生まれた人）

| 公的年金等の収入金額(a) | | 控除額 |
|---------------|--------------------|--------------------|
| ① | ～ 130万円未満 | 60万円 |
| ② | 130万円以上～ 410万円未満 | (a) × 25% + 27.5万円 |
| ③ | 410万円以上～ 770万円未満 | (a) × 15% + 68.5万円 |
| ④ | 770万円以上～ 1,000万円未満 | (a) × 5% + 145.5万円 |

(2) 65歳以上の会員（昭和32年1月1日以前に生まれた人）

| 公的年金等の収入金額(a) | | 控除額 |
|---------------|--------------------|--------------------|
| ① | ～ 330万円未満 | 110万円 |
| ② | 330万円以上～ 410万円未満 | (a) × 25% + 27.5万円 |
| ③ | 410万円以上～ 770万円未満 | (a) × 15% + 68.5万円 |
| ④ | 770万円以上～ 1,000万円未満 | (a) × 5% + 145.5万円 |

◎配分金の支払証明書（令和2年12月～令和3年11月就業分）は、1月中に郵送します。

◎派遣の方の源泉徴収票（令和2年12月～令和3年11月就業分）も、1月中に郵送します。

◎配分金、公的年金収入以外に収入がある場合など、詳細については個別に税務署にご相談ください。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|------|-------|------|-------|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 表紙写真 | 委員長 | 副委員長 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | |
| 中西久美副委員長 | 岡本隆雄 | 花本美恵子 | 西出悦子 | 山河島富夫 | 東保一 | 森健一 | 森耕市 | 森久美 | 中西幸五 | 山岡章 | 久美幸五 |

女性の会員拡大を目指し「女性の会」
が発足して三年が経ちました。
春秋・お正月と年三回の寄せ植え教室や手芸教室には、多数のご参加があり
がとうございました。一歩一歩ですが、
余暇を利用して、ホツとした一時を、又仲
間づくりにと輪を広げていければと願つ
ております。引き続き、皆さんから、お
知り合いの方に声かけをお願いします。
今回の職場紹介にも活躍している様
子を掲載しておりますが、ある職場でい
きいきと活躍されている会員さんの姿に
接し、いつも元気をもらっております。
今年は、三十六年に一度の「五黄の寅」
年。強い運勢を持ち、何事にも立ち向か
う行動力のある寅年にあやかり、新型コ
ロナウイルス・変異株感染の終息を願つ
てやみません。

編集後記